

平成 27 年度第 4 回八幡平市まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事録

1 会議名 平成 27 年度第 4 回八幡平市まち・ひと・しごと創生有識者会議

2 開催日時 平成 27 年 11 月 17 日（火）14:00～16:10

3 開催場所 八幡平市役所本庁舎 3 階大会議室

4 出席者

【委員】9 名

野中邦仁委員、松川章委員、伊藤忠雄委員、小野寺純治委員、村上俊介委員、遠藤武敬委員、森順彦委員、渡邊るみ委員、菊池光洋委員

【市側出席者】

田村市長、岡田副市長、遠藤教育長、香川企画総務部長、小林市民福祉部長、小山田産業建設部長、工藤教育次長、事務局（市長公室：佐々木孝弘、佐々木宣明、三浦拓）

5 議事

(1) 第 3 回八幡平市まち・ひと・しごと創生有識者会議の意見と追加資料について

(2) 八幡平市人口ビジョン（案）について

(3) 八幡平市総合戦略（案）について

6 意見交換の内容

事務局	議事(1)八幡平市まち・ひと・しごと創生有識者会議の意見と追加資料について：資料説明
会長	<p>ありがとうございました。まずひとつは完結出生率が、晩婚化が進むとやはり減ってくると。ただ、第 1 回の昭和 40 年は 4.27 という今から考えるとすごい数値だなということ。それが常識の時代もあったということだと思います。これからその意識がどう変わっていくかがこれからすごく大事なのだなと思います。</p> <p>観光客の消費額については、人の流動は分かるのですが、地域経済を考えたときに人ではなくてお金が地域にどれくらい消費されているかということがすごく大事であって、それを上げていくためには、いろんな取組みをしないといけないことがあって、ぜひお願いしたんですけどもなかなかデータが出てこないという状況です。</p> <p>是非、岩手県ご当局におかれましても、松川委員等の方で引きつづきお願いしたいと思います。もっとも盛岡広域全体としても観光地域としてがんばっていくということであれば、こういうデータは、必要になるだろうと思います。ありがとうございました。ご質問はあるでしょうか。</p>
一同	なし
会長	<p>ありがとうございました。それでは続きまして議事の 2 番目に入ります。『八幡平市人口ビジョン（案）』について、事務局引き続きお願いします。</p>
事務局	議事(2)八幡平市人口ビジョン（案）について説明

会長	ありがとうございました。皆さんから何かご質問ありますか。
一同	なし
会長	<p>市議会の全協議会におきましても、人口について大きな関心があつて、国勢調査でということですが、住民基本台帳人口、つまり住民票をもとにやったらどうかというようなこともあります、やはり人口推計は5歳別に捉えている実人口の国勢調査の数値で押さえていかざるを得ないだろうということだと思ひます。</p> <p>国勢調査の人口と住基人口では、700人前後のズレがあるということが改めて確認ができているということだろうと思ひます。</p> <p>それからもうひとつは、推計人口が少ないのではないかと言ひましたが、事務局からご説明があつたとおり、結局最終的には外の出入りゼロと社会増減を抑え、なおかつ2.07まで出生率を上げるといふことで、それでもこの18,800人にしかならないといふことで、かなり厳しい状況であるといふことで是非市長さんはじめ、事務局の方にも市議会委員の方に丁寧なご説明でご理解いただひて、皆さん一人ひとりががんばらないと人口が増えないといふことを理解していただきたいなと思ひます。</p> <p>それから、先ほど33ページで交流人口による経済効果、非常にこれ観光都市の八幡平として非常に大事なところになるだろうと思ひます。</p> <p>岩手県の外国人観光客の平均消費額は58,830円となつておりますけど、実は私は今年の夏に日本航空の大西会長が経済戦略会議に出した資料を見ていたのですが、彼の説明では、訪日外国人の1回あたりの消費額が137,000円だそうです。といふことは、岩手とあと2県くらい周つて消費していくようなイメージなのかなといふことです。</p> <p>その中で、彼がしゃべつていたことをメモつてはいるのですが、1番多いのは中国人だそうです。2013年のデータですけども、1回あたり288,000円使つてると。今爆買ですから、もっと増えていると思ひます。その次に多いのがオーストラリア人の240,000円といふことで、オーストラリア人は長く滞在をするといふ傾向にあるといふことで、ここも含めて、観光立市八幡平市にどのような戦略で海外からの観光客を迎え入れるかといふところからも是非ご検討いただけるといいかなと。</p> <p>ちなみに国内客について出ていまして、大西会長の資料では、宿泊客は1日1回あたり48,000円、日帰り客は1回15,000円といふことで出ておりますので、岩手県全体としても59,833円といふ外国人の消費額をどう大きくしていくのかといふことで八幡平市を中心に長い間滞在いただひて、地場のものをしっかり食べていただひて、お土産をお買ひ上げいただくといふことが必要になるんだらうと感じたところでございます。</p> <p>人口ビジョンについては前回も議論いただひておりますので、大きな意見はないかと思ひますけど、このような形で整理していただいたといふことであります。</p> <p>繰り返して、何かご質問やご意見はありますでしょうか。</p>

一同	なし
会長	よろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは次に3つめです。ね、議事の(3)の八幡平市まち・ひと・しごと創生戦略の案について、事務局からご説明してもらいと思います。
事務局	議事(3)八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について説明
会長	<p>ありがとうございました。丁寧にご説明いただきました。</p> <p>もうひとつ振り返って、質問を受けて、確認しながら進めていきたいと思ひます。</p> <p>目次を開いていただいて、第1章～第4章ということで、前回はどちらかというところの第3章と第4章のところを少しご議論いただいたところですが、その第1章、第2章が追加になったということで受け入れていきたい。これははじめのところ大事だというふうに私は思っています。それが何かというと、国の考え方の五原則が1の(2)にあります。自立性、将来性、地域性、直接性、そして結果重視。これまでの計画と一番違うところは、この結果重視ということだと思ひています。</p> <p>結果を追求する施策でなければならないということは、人口ビジョンだけが必ずしも結果ではないのですが、将来的に2040年に八幡平市の18,800人が楽しく暮らすということを実施するための当面5年間の戦略をここに作った。そのために各プロジェクト、17のプロジェクトがあると。基本目標が4つあって、そこに全部で17のプロジェクトがあると。</p> <p>それにプロジェクトを進めるチェックの使用として、Key Performance Indicators、KPIという指標が出てきている。施策をいくつかのプロジェクトで進めて、それを最後にまとめたのが7頁にある基本的な方向と数値目標ということになるのだろうと私は理解しています。ですからこれを達成すれば、5年間ではなくて、2040年までに18,800人八幡平市では楽しい生活をしていけるような市ができていなければならない。</p> <p>また、そういう計画になるべきものであるというのは、この総合戦略だというふうに思っています。ですから先ほど挨拶で申し上げましたけど、「人口が少ないからもっと増やそうね」ってやって、それと施策がずれてしまって、「しょうがなかったね」という計画ではなくて、おそらく国も、全体としてこれを積み上げていきますから、これからまとめて達成したかということをチェックされて、達成したところには少し交付税が厚くなるし、達成しなかったところには結構厳しい措置がくるのではないかと個人的には予想しております。</p> <p>かといって、社人研のデータ通り何もしないのは良くないわけで、八幡平市の場合には、2千数百人上乗せをして、この努力によって2千数百人増やしていくのですよというがんばりをここに入れたと私自身は理解しております。</p> <p>そのために、今日もお集まりいただいた皆様方にもただ単に意見を提言</p>

	<p>するのではなくて、計画の進行管理ということで、毎年1回かもしれませんが集まっていたいて、今までの議論と違うではないかというようなことをしっかりと申しておかなければならない。もしズレるのであれば、何がどこで我々が当初考えていたこととズレてきたのか、我々も真剣に考えなければならぬということが、第1章のはじめにの4のところの、計画の進行管理に位置づけられていると私自身は理解をしております。</p> <p>ということで、それを踏まえて今日は本格的な議論がおそらく、計画策定に向けての最後の場でありますので、ご質問を含めてご意見をいただきたいということでありますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>今、会長さんからもお話いただいた結果重視ですが、1ページのところに計画の進行管理、PDCAが載っているわけですけど、基本的にもものづくり、製造業からこの言葉がきていると思うんですけど、まさに八幡平市の計画を策定する段階で、ほんとに現状分析をされていたと思うのです。従って、このPDCAの計画のまえに、カッコ書きでリサーチ、分析をされていると思いますし、それを加えられたらどうですか。</p> <p>それから4段階の活動を繰り返し行うということですが、会長さんからもその都度その都度、5年計画なわけですけど、半年、1年なりで進捗状況管理するわけですので、たとえば、状況が計画よりも好ましい状況で終わった場合には、それでよしとするのではなく、このものづくりのPDCAでいえば、次の計画においては、前回の計画を上回るような、今はスパイラルと言っていると思うのですが、そういったことを目指すというか、そういった取組みになると思うので、ここの用語解説のところでも前向きな取組みに表現されたらどうですか。</p>
会長	<p>ありがとうございました。そこはご検討いただいて、おそらく、委員さんがおっしゃられた中に、たとえばKPIの中にも現状の数値しかないわけですね。そうではなくて本当は流れがあって、だから5年後には、こういう数字になるのだろうということで、そこは私どもも具体的な数値ではなくて、いっぱいあるものですから、事務局のほうでそういう計画になっていると。あとは施策として、プロジェクトとして入るにはどうかというところを確認すればいいと思っておりました。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>現状分析も入れて、今回の目標値は立たせていただいておりますが、その入れ方については事務局の方にお任せいただければと思います。</p> <p>それから5年を待たないで、達成できる数値・項目もあるかと思いますが、その都度重要目標値を更に高く掲げるということについても考えてはおりますので、そのようにさせていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。あくまでも18,800人という数値は、最下位値として考えてもらってもいいですね。</p> <p>スパイラルワークしていったらがんばれば、もっと2万人近い数字が出てくるのだと。2040年代、20年後に18,800人という低い数字だったと笑えるような数字になればなと思います。</p>

	<p>ありがとうございました。他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>さっき、小野寺会長から住民が 2040 年にこの町に住めてよかったというような町にしていかないとだめだと言った時、そうだと思ったのですが、住民満足度を取るみたいな指標があまりないような気がします。</p> <p>それと、基本目標の 1 番、生きがいを感じる働き場の創造というところで、収入が増えるイコール生きがいになるかどうか分からないのですが、働く人が何をもちて生きがいとを感じるか、おそらく数値だけでは出ないものだと思うので、直接企業さんの社員を見てもらうような形でやったほうがいいのではないかと、基本目標と数値目標、指標が少しずれている気がするとお話を聞いていて思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。そこは私から前段コメントしますので、補足があったら言ってください。</p> <p>おそらく、八幡平市の総合計画に、そこにある 6 ページに総合戦略の位置付けがあって、今上位計画から八幡平市総合計画を策定中で、これが 10 年計画になるか、5 年計画になるかによりますが、そこで住民満足度をとっていくことになるだろうと思います。それがこちらにも響いてくる位置づけになってくるのではないかとというふうに私自身は描いているのですが、どのように事務局はお考えですか。</p>
事務局	<p>ただいま会長さんがおっしゃられましたように、総合計画を今策定作業中と説明させていただきましたが、今年の 2 月に市民アンケートをとってございます。</p> <p>市民満足度の調査については、当初取ったアンケートを今後整理して、追跡調査しつつ、満足度調査を総合計画のほうでやっていきたいと考えております。</p> <p>総合戦略の方は、このように数値として取れる社会指標を活用した目標値ということで、その部分を総合計画と総合戦略で分けながら指標管理して、満足度も勘案していきたいと考えております。</p>
会長	<p>総合計画はもっと幅広いのだろうと思うので、そのなかで総合戦略は私の理解では 40 年後の人口を活性化するための案なので、そういう書きぶりになっているのだろうと思っておりました。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>第 4 章で基本目標ごとのプロジェクトということなのですが、それぞれ素晴らしいことが書いてあって、それを進めていく上での実際問題、どういことをやっていくのかというところは、どのようにやっていくかについてお聞きしたい。</p> <p>たとえば、新規就農者、農業に就きたいという方が、実際に都会にいるらしいですけど、ただ、希望だけで実際生活が成り立たない。</p> <p>それをどうやれば生活が成り立っていくのかという具体的な計画なり、ビジョンを示してもらえれば、踏み出しやすいのかなというのと、あと離農者はどれくらい畜産業にしても、米にしても、どのくらいの離農者が出</p>

	<p>てくるのか。離農する人が持っている、技術なり設備、土地なりをどのように新規就農者に斡旋していくのか、次の世代に渡していくのか、ちょっと難しいところが見えない。</p> <p>実際、この前ちょっと話した畜産農家さんは和牛で 30～40 飼える施設で、飼料をとる土地も機械もある。しかし、もうこれ以上続けていけない。それをうまく誰かやってくれる人がいれば、渡したいけれど、それをうまく橋渡ししてくれるというか、そういうところが分からないというところで聞かれたのもあるので、そういうところをもっとうまく計画があればそういう人呼び込めるし、逆に畜産での売り上げを上げることにも寄与するのではないかというようなどころがあります。</p> <p>あとスポーツイベントはすごくすばらしいなど、健康リゾート強化はすごくいい観点だと思って、それをまだまだアピールしきれていない部分がすごくあるような気がします。</p> <p>八幡平市で全国レベルでのサイクリングというか、自転車競技があるのですけれども、ほとんど知られていないような状態。ただ、自転車競技があるからこの道使えませんかという案内だけで、そのイベントがどういう位置付けか市民にいきわたっていない部分があると思う。そういうようなところから考えると、市民にもう少しアピールする。</p> <p>たとえば、グラウンドなんかでも掲示板があって、「どういうイベントがありますよ」、そういうのがあれば、「今日人集まっているよね」、「何やっているのだろう」となっているのが、前もって宣伝があれば、もっと注目されていい形になっていくのではないかというところがあります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。特に前段の例として、農家の新規就業と移動元とのマッチングがあり、ゾーニングというか、資産だったり、システムとして承継していくのかというところが、各プロジェクト一項目くらいしか書いていないので、具体的に見えてこないわけですが、何かどこかでご説明はありますか。</p>
<p>市長</p>	<p>それについては、十分に承知していますし、2年前から担当課に、息子に受け継ぐ時代は過ぎて、今おっしゃったように資本投下して施設があって、高齢化になって、そのまま農業続けられない人もいっぱいいるでしょうと。その人たちの意思を調査してくれと。いくらだったら貸すのか、売するのか。そしてまずそれと、住まいの調査と、これを徹底してやってくれというのはお願いしていますので、来年度あたりは、やるのだろうと思います。</p> <p>そのデータが出ますので、新規就農者を求めるにしても、それがしっかりしていないと不安なわけですよ。そこはきちんと調査をデータ化して、興味のある人にも答えられるようなデータをつくっていかなければならないというお話です。</p> <p>あとは、国に対してハローワークさんにお聞きしたいというか、できれば県と協議していただきたいのですが、この間 NPO 法人で全国展開して</p>

	<p>いるふるさと回帰センターという見城 美枝子さんが主催している経団連や全農が支援している NPO 法人なのですが、有楽町駅前の一等地のビルを借りて、都会から地方に言ったり来たりという人の斡旋というのですか、そういう業務をしているのですが、すごい活気があるんですね。</p> <p>活気があってすごくいいのですが、ただ遅れを取っていて、よその県でびっくりしたのが、県とハローワークがひとつのブースに組んで問い合わせが来た人達に対して即座にハローワークが隣にいますから、仕事の斡旋やこういう業種にはこういうふうになりますと即答でやれるわけです。</p> <p>そういうブースを構えていました。</p> <p>我が市も会員になっていますが、ただパンフレットだけで「空気がいいですよ」って、それくらいしかできてないわけですよ。そうではなくて、そういうデータと具体的な、職員の方も言っていました、たとえばリンドウを栽培すると何年後にはどういう収入があって、技術指導者の体制はどうなっているのか。住む家はあるのか。そういうものを具体的に出していただきたい。そうすれば八幡平市を担当しているセンターの職員も、それはどんどんやれるっていう仕組みを是非、岩手県は特にそういうところに力を入れてもらいたいですね。</p> <p>びっくりしたのが山梨だったか、山梨はハローワークを隣において、ばっちりブースを構えていた。</p>
会長	長野、山梨が確か活発にやっていますね。
市長	もしそれが可能ならば、自治体単独でそこに登録して、自治体単独で募集するのはかなりきついものがある。財政的にも。
会長	<p>回答は、私の理解では、こうやってプロジェクトをつくって KPI を出したということは、おそらく今までやっているのもあるし、市長さんがおっしゃったように取り組み始めているのもあると。</p> <p>あげた以上は、おそらくやらなければならないし、行政だけではなくて、農協さんも巻き込みつつ、場合によってはいろんな方を巻き込みつつ、ネットワークをつくって、そういうものを情報を整理してもっていくことになるのだらうと思いますので、くれぐれも大事なものは上げた以上は、そういうシステムをつくってチェックをしなければならない。</p> <p>委員がおっしゃったように PDCA をまわさなければならない。なにが課題なのか、ということをやっていくと。それがこれまでの行政の計画とは一線を違う計画になりはじめていると理解しておりますので、是非よろしくお願いします。</p> <p>それからもうひとつ、委員がおっしゃっていた健康リゾート強化のところ、自転車等を使ったもの、やはり情報が市民などいろいろなところに普及していないというのが気になるところで、一部の方々の満足度で終わってしまっていると、それをどうのように評価をし、それにうまく連携していくかが大事。是非そういう視点で取り組んでいただければと思います。他は、いかがでしょうか。</p>

会長	エネルギーの地産池消は必要なのですがけれども、多くエネルギーがあってもあまり雇用は得られないのも。
市長	特に太陽光は面積をとって、最終的にはどういうふうになるか分からないエネルギーなもので。
会長	その辺はしっかり対応していただきたいと、お願いいたします。他はいかがでしょう。それでは実質的に今日が最後の会議ということで、特に今お話いただきましたけど大きなところでここを直すべきだということのご意見はなさそうだと理解させていただきたいがよろしいでしょうか。
一同	はい
会長	それでは残りの時間を使いまして、せっかく今日お集まりいただきましたので、委員から感想でも結構でございます。なにかご発言をいただければと思います。
委員	<p>ちょっと訂正したいと思っていたところがありまして、資料2の農業はリンドウというところなのですが、「リンドウと家畜、花、野菜、肉をメインにするのがいい」にほうれん草をいれてほしいと思いました。</p> <p>感想なのですが、本当に人口が増えればいいなと思いでいます。我々はこの機会に呼ばれているので、外に行く人間をどういうふうに呼び込むか。皆さんから聞いたことを友達なり、後輩なり、出て行ってく人たちに呼び戻せるような、うまく騙せれるか分からないのですが、呼び戻していきたいなと思いました。</p>
会長	ありがとうございました。後輩の方を合コンに誘う発言もありましたが、是非そういう取組みをひとつずつやっていくことが大事だと思いますので。
市長	よく市民の皆さんの集まりで言うのですが、人口減少は何も行政が考えてやらなくても、行政がやることは当然やるのですが、社会全体で企業も個々の家庭もすべて含めて考えてもらえないと、とても立ち向かえるような課題ではない。大きくて行政単独で立ち向かえるような課題ではないのですね。子供が産める環境にしても、企業の人達に全面的な雇用の環境をつくってもらわないと、なかなか子供だって生める環境は厳しいし、自分だけ可能とは思っていませんし、人口は国家の問題で、国が本来きちんと考えるべき。国家の存亡に関わる問題だから、日本ももっとドーンとやってくれたらいい。
会長	市長さんに後でご意見いただこうと思ったら今いただいたので、引き続き委員ありますでしょうか。
委員	<p>今朝のテレビで、県内の高齢者ですか、就業者が全国でトップだと。2年連続でございます。やはり、年齢が高くても働かざるをえないというところもあるかもしれませんが、あるいはそういったスキルを持っている人を雇用したいというのもあるでしょうが、また一方で高齢でも働きやすい風土があるのかなと思ってテレビを見て思いました。</p> <p>改めて、この場に来て、労働生産年齢人口もですね、たとえば 15～64</p>



	<p>歳で切っていますが、切り方も全国一律じゃなくて、地域の特性に合わせた切り方があるんだろうなと思ったのです。</p> <p>そういうふうには実は総合戦略も地域地域の本当はやっていること、特色というのをうまく取込んで生かせれば、八幡平市の強みとして観光なり、就労者なり、自営業者の方もかなりの年齢まで働いていらっしゃるわけですよ。そういうような強みも出せるのかなと感じていました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。委員、ご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>非常にね、すばらしい計画で、今まで副会長さんも言われていると思うのですが、労働人口の関係もあって、今、高齢者の関係もありましたけど、当時高齢者の雇用確保措置からもう十数年経つわけですが、岩手県全体の全国から比べて高齢化率が平均7年早いと言われていて、それに対する対応策というのですか、それが今現状、実を結んでいる状況なのだと思います。</p> <p>今現在、盛岡管内で雇用保険を掛けながら仕事をしている人が 155,000人いるのですが、震災以降 11,000人くらい増えているのです。</p> <p>この要因が 25年度からの 60歳定年ではなくて、65歳まで、あるいは元気な方については、70歳まで働ける社会を目指したいということで、先ほど申し上げたとおり、7年早くそういったものに対応してきている部分があって、全国でトップレベルにきているということで、私も畑も田んぼもあればやっているのですが、地域ではリンドウも含めて海外に進出みたいに報道になっていましたが、やっぱり 65歳なり 80歳まで近所の方もたくさん農業やっている方いるので、全体の中では製造業よりも地域にあった農業分野に力点を置いたやり方で、非常に好ましい状況だと思っております。是非ともがんばっていきたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは委員、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどから会長さんがおっしゃってましたけど、2040年に 18,800人ということがずいぶん小さく評価したなと笑えるように目標、プロジェクトがちゃんと進んでいけば可能である数字だと思います。後で皆で見通しが甘かったということで、過小評価だったねと言えればいいなと思います。</p> <p>現在の計画は右肩下がりの人口を設定していて、それに対して人口回復に向けてという言葉がいっぱい出てきていますけれども、そこらへんはよるしいんでしょうか。</p>
会長	<p>その辺の言葉の使い方を検討願います。</p>

委員	<p>今から 25 年後に 18,800 人ということで、今でも減っているところに、子供たちが個々の家を離れたり、親の手を借りないと集まれなかったりということもあるので、是非 25 年後のこの計画の中に子供たちが自主的に集まりやすい場所に、たとえば必要とされるような施設というものを、行きやすいように公共交通があるような場所とか、観光でもそうですが子供たちが行って見られるような場所、山でも、岩手山でも、子供たちが岩手山に登りたいといっても、岩手山は高いので親がいないと無理ですけど、でも自然と中学生とか高校生くらいの子供たちが自然と外に行けるかと言うと、なかなか難しいかなということもありまして、ますます人口が減りますと子供たちの場も、八幡平市がすごく広いので、さっと行けるかというとなかなか集まらない。そういうのを考慮に入れていただいて、同じ八幡平出身の 20 年後半分に減った子供たちが知り合えて、輪がつかれるような場所を是非、行政のほうでも見通しをもってやっていただけたら、安代も大更の子も 1 回 2 回はもう会って知っているというような、ふるさとに帰ってきたいとも思うかなと思いましたので、是非進めていく中でよろしくをお願いします。</p>
会長	<p>人間は社会的な動物なので群れるというか集うのは大事で、それがないと人格ができにくいというのがあるので、大事なことだと思います。ありがとうございます。委員いかがでしょうか。</p>
委員	<p>はじめに、この会議に参加するような形になったときに、一回はなるべく発言しようかなということで、努力してきました。</p> <p>はじめに思ったのは、これって国からのこういうこと考えてやりなさいということで来たところでの他地域との競争そうなり、分捕りあいなのかと思っていたのですが、実際参加してきて、2040 年に 19,000 人弱というような形で、ただ単に絵に描いた餅の計画じゃなくて、実際にどういことを策定して、どういうところを目標としてというところがすごく割と具体化されているということで、感心しているところです。基本目標やプロジェクトのところいろいろ詰めなければならないところがあると思うのですが、ある意味僕自身も興味があるようなこともあるので、そういう意味では楽しみました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。引き続き検証のほうでも更に具体的にご発言いただくことになると思いますのでよろしくお願いします。ありがとうございました。委員いかがですか。</p>
委員	<p>本当に策定していただくに当たって、こういう風に KPI や細かい検証、分析をして、こういうふうにはなっていますが、そのために費やした時間は調査とかものすごい膨大なものだと思うのです。</p> <p>いよいよこうして出てきて、形になってきたなというものがあるのですが、本当に大変なのは、実際行動を起こすこれからで、この前テレビでもやっていて、そのとおりでなと思ったものが、人が作ったこういう計画を簡単に評論することができるじゃないですか。日本人全員が評論家</p>

	<p>になっているというようなことをよく言っているが、まさにそのとおりだなと。無責任にというか、何か意見を言わなければいけないと思って、評論家っぽくつい意見を言うてしまうのですけれども、もうちょっと自分事化したときに無責任な評論ってできないはずなのですよ。</p> <p>先ほど市長が言っていましたが、行政がやることではなくて、皆が、社会が全員一体になって自分事化して考えてやっていかないといけないのだなというのをあらためて今、実感しているところです。</p> <p>どうやって一人ひとりが自分事化して考えて、自分だったらこれができるからこれをやるというふうに参画していくことのシステムができれば、もうちょっとこの計画が生きてくるのかなとすごく思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。非常に大事なご意見でした。委員いかがでしょうか。</p>
委員	<p>今回初めて計画に関しての話し合いということで参画して大変勉強になりました。私は観光分野に携わっていて、思ったところは発言させていただいたのですが、今委員の話でもあったのですが、実際に計画を立てるのは住んでいる人たちなので、いかに計画を噛み砕いて、おそらく役割分担をしていかなければならないと思うのですけれども、地元で落とし込んで、地元でやっていけるかどうかというのがカギになるのかなと。</p> <p>自分だったらこうだということを考えながら会議に参加して、やっぱり地元の人のお話を聞いていると結構、「行政が」という話が出てくるのですよ。たとえば市がなにかしてくれたいとしてもうまくいかないと思う。そこをやっぱり住んでいる人が自分たちのまちをどうするかという意識を上げていくことが必要だなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。私からも一言言わせていただいてもいいですか。さっきから言っているんですが、PDCAという言葉がありますが、この間ある別の会合で委員の皆さんがおっしゃられていました。このCというのはプランというのは行政計画だとありました。</p> <p>Dは誰なのかというと、おそらく、先ほど市長さんがおっしゃったように、市役所の職員がやらなければならないと、チェックは市民がやってですね、アクションはまた戻って行政がやるという話になって、それはおかしいじゃないかと。単にCはチェックじゃなくてシェアするのではないかと。つまり課題も成果も含めて、シェアして次のアクションになるべきであると。そうしないと計画はうまくいかないのではないかと。「PDCAではなくて、PDSAにすべきだ」とおっしゃっていて、「ああそうだな」と。ですからこの計画は確かに八幡平市がつくっているけれども、逆に言えば行政マンが行政のために行政で計画をつくっているわけではなくて、市民一人ひとりが考える計画で、市民一人ひとりが行動する計画で、市民一人ひとりが行動するときどういう方向を向いたらいいのかをつくったと。おそらくそのためにはデータが必要であれば市役所は提出をして、場を提供してやっていきます。その中のプレイヤーは市民なのだということ</p>

	<p>にならなければならないし、市民がDOをして、その結果市民同士がまたシェアをして次のアクションになっていくという形にならないと、多分いいものにはならないのではないかとこのように思います。</p> <p>ですからこのせつかくの懇談会で集まっていたいただいた有職者会議の委員の皆さんには少なくともチェックではなく、シェアをしていくという考え方で今後このビジョンであったり、戦略を進めていく提言をお願いしていきたいなと思っていたのが、私の一番の会長をさせていただいての感想となります。</p> <p>本当にありがとうございました。それでは、次に行きたいと思います。</p>
6 その他	
会長	<p>いろいろご発言いただきまして、皆様ありがとうございました。</p> <p>最後に6で『その他』ということですが、委員の皆様なにかございますでしょうか。</p>
一同	なし
会長	よろしいでしょうか。事務局のほうからよろしいでしょうか。
事務局	<p>貴重な意見、大変ありがとうございました。</p> <p>それでは、今後のスケジュールのところでご説明しましたが、今後、今回の意見を反映させた上で、パブリックコメントに集約したいと考えております。</p> <p>それから議会への説明をまとめた上で、長期で決定すると発表しましたが、完成しましたら改めて議員の皆様にご覧いただきお送りしたいと考えていますので、よろしくお願ひします。以上でございます。</p>
会長	先ほど村上委員からあった言葉の使い方のご検討をいただき、ご修正の上でパブリックコメントにさせていただきたい。よろしくお願ひします。それでは閉会になります。事務局のほうに移動します。
事務局	<p>ありがとうございました。会長が言っていましたように委員の集まりは今日までの4回の有職者会議までとなります。ありがとうございました。お疲れ様でした。</p> <p>会長のお話の中にもありましたけれども、総合戦略につきましては、28年度以降検証するので、また皆様にお声掛けするかと思いますので、総合戦略の検証につきましてはよろしくお願ひいたします。</p> <p>総合戦略につきましては、一旦策定はいたしますけれども、検証のなかで見直しが必要であれば、修正は考えてはいますので、それにつきましてはよろしくお願ひします。</p> <p>それではこれまで大変ありがとうございました。お疲れ様でした。</p>